



佐倉ハーブ園  
本社敷地内に設営し地域に無料開放

- 本社所在地：千葉県佐倉市木野子158番地
- 事業概要：医薬品原薬、化粧品原料、食品添加物、健康食品素材等の製造及び販売
- 常時使用する従業員：96人（2024年3月期）
- 現在の売上高：53億円（2024年3月期）
- 法人番号：4040001046976
- Web：https://www.tokiwapl.co.jp/

企業理念・100億宣言に向けた経営者メッセージ

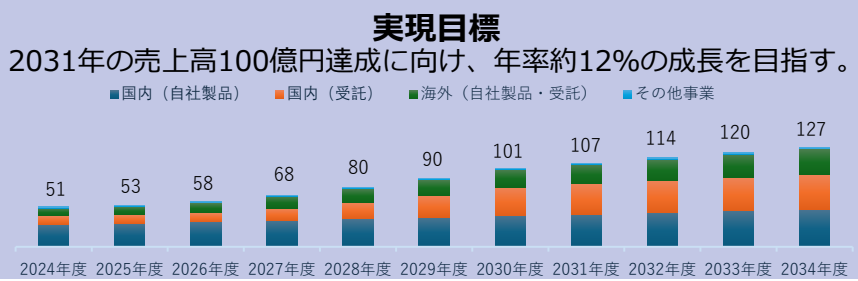


代表取締役社長  
立崎 仁

植物に感謝し、生かされる会社になる

常磐植物化学研究所は、社会に役立つ植物成分（ファイトケミカル）の新たな価値を創造し、専門企業ならではの製品とサービスを提供することで、社会の発展に貢献することを日々追求・実践しています。ESG経営を強化し、特に日本のSDGsの実施指針である「健康・長寿の達成」に向けて、機能性表示食品をはじめ医薬品・化粧品において最高の技術で最高の製品を製造する『世界一の植物化学企業』を目指し、これからも植物とヒトの明るい未来を提案し続けます。

売上高100億円実現の目標と課題



- 課題**
- ・ 主力である国内自社製品事業の確実な成長
  - ・ 受託先獲得による国内受託事業の拡大
  - ・ 海外事業（自社製品、受託）の強化・拡大
  - ・ 売上100億円達成を支える人財の育成

売上高100億円実現に向けた具体的措置

- 目指す成長手段**
- ・ 研究開発および臨床試験によるエビデンスの拡充
  - ・ 受託案件数増加に向けたパイロット棟の拡充
  - ・ 海外事業拡大に向けた代理店等販売チャネルの整備
  - ・ 日本らしい製品の開発
  - ・ DXの推進、人事制度改革等による人財の育成
  - ・ 自社工場の新築・改修、外部委託による生産能力の拡充
  - ・ ESG経営と脱炭素化の推進
  - ・ 原材料調達に関する協力企業の開拓（海外）

- 実施体制**
- ・ 売上高100億円実現に向けた計画と実行管理を行うプロジェクトの発足
  - ・ 協創活動推進強化に向けた生産技術部の新設
  - ・ 海外事業担当である貿易課の人員増強
  - ・ SCM室のさらなる体制強化
  - ・ ESG経営と事業継続計画（BCP）体制の強化

## 売上高100億円実現に向けた具体的措置

売上高100億円実現のために、以下の具体的措置を実施し、当社の主力3事業（国内自社製品、国内受託、海外）の成長を図る。

- 研究開発および臨床試験によるエビデンスの拡充：輸出相手国の規制に基づく有効性・安全性エビデンスの取得、国内では機能性表示食品に関する新規受理件数の増加を図る。
- 受託案件数増加に向けたパイロット棟の拡充：お客様との協創の場であるパイロット棟を拡充し最新設備を導入するとともに、協創活動の推進強化のために既存開発技術部に加え生産技術部を新設する。また現在進行中の大型案件を確実に受注する。
- 海外事業拡大に向けた代理店等販売チャネルの整備：貿易課の人員を増強し、各国の代理店との関係性を強化するとともに新規代理店を開拓する。
- 日本らしい製品の開発：海外市場を睨んで日本を原産とした植物を原料とする製品の開発。
- DXの推進、人事制度改革等による人財の育成：①評価・報酬制度の改定等による経営理念・フィロソフィの浸透、生産性の向上、②DX推進によるIT民主化、③DX推進による基幹システムの増強、④階層別研修による組織全体のレベルアップ、⑤本部長以上の後継者育成の推進による持続性の担保、⑥様々なバックボーンの人財活用による多様性の確保等を実施する。
- 自社工場の新築・改修、外部委託による生産能力の拡充：国内工場において2棟新築、2棟改修することで生産能力を向上し、さらに海外委託先生産拠点の活用拡大を図り、供給能力を確保しBCP体制を整える。
- ESG経営と脱炭素化の推進：本社佐倉工場のカーボンニュートラルとグローバルにおける脱炭素化の更なる推進
- 原材料調達に関する協力企業の開拓（海外）：SCM室が中心となり技術指導を含めて、第2、第3の海外供給元の拡大を図りBCP体制を整える。

